

外国史Ⅱ

科目ナンバリング HSG-102
【Ⅲ】 選択 2単位

蔡 易達

1. 授業の概要(ねらい)

今日まで、世界四大文明の1つである中華文明について考える。前期に続き、文化論の視点から清末から現在まで中国の変遷の実態を解説するとともに、アジアの周辺地域へ及ぼした影響も視野に入れ、解明する。

講義の内容に資するため、ビデオなどの映像・音声資料を使用することもある。

2. 授業の到達目標

大学の基礎訓練として、専攻以外の領域においても流動する現実の様々な問題を見据え、過去におけるアジアの人々の歩みを理解し、分析・検討した結果を現在から未来に連なる問題に投影するべく、重要な課題の1つがあると考え、基盤となる独自の問題意識を持ち、その目標に向かって前進することを期待している。

3. 成績評価の方法および基準

毎回授業後、200字程度の感想文を書く。その内容(50%)と期末テストの結果(50%)により評価する。

なお、講義回数の3分の2以上出席することは単位修得の必須条件とする。

4. 教科書・参考文献

教科書

毎回、授業前にプリントを配布する。

参考文献

宮崎市定 著 「中国史(上下)」 岩波文庫

富谷至・森田憲司 共編 「概説中国史〈下〉近世-近現代」 昭和堂

5. 準備学修の内容

講義を聞いているだけではなく、講義の内容に関する参考文献に当たって、MELIC(Media Library Center)を活用し、調査・研究を進めてほしい。

6. その他履修上の注意事項

大学に通えているのは保護者の方のおかげである。少しでもさぼり気味になりそうな時はご両親の顔を思い浮かべてください。汗水垂らして稼いだお金があるからこそ、あなたは大学に通えているのである。それを頭の中に置いておくだけでも自然と頑張ろうという気になれるはずである。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス:中国近現代の幕開け
- 【第2回】 近代西洋文明の襲来
- 【第3回】 東アジア国際秩序の崩壊と再構築
- 【第4回】 キリスト教の布教活動と近代教育の形成
- 【第5回】 社会進化論と民族意識の形成
- 【第6回】 洋務運動——「中体西用」論
- 【第7回】 立憲運動——康有為と梁啓超
- 【第8回】 孫文と辛亥革命
- 【第9回】 新文化運動と五四運動
- 【第10回】 日本大陸進出と国共内戦
- 【第11回】 第二次大戦後とアジアの冷戦体制
- 【第12回】 中国の改革・開放政策と影響
- 【第13回】 「一帯一路」の現状とその問題点
- 【第14回】 アジアを考える
- 【第15回】 まとめと小テスト